



大阪日々新

十五号

新報社

馬士政

九一



土佐堀
五目金比羅
船宿中村十助

方にて明治七年正月二日の書
生りぬ男船を雇ひ既に出帆

まる折る

湊先町向井勇助との者便舟のり組

者あへ報知五百七十六号

現然

一命を軽へドカ同く
勇助へ希有の命を拾ひ
愛媛縣より送ら
しめよる種あり

掛殺の子細

あるが天より授る

明日播六沖から荒れ渡る海原を忽ち船中立さるる水夫へ血まおし舟頭へ深手をさし逃廻る二人の
あつひ勇助八魂とてふ事浪の上切殺るる勢の低頭平身命を乞へ其す捨おし舟を風任せ
走るちと小豆島ある浅瀬への岸勇助へ舟をもちてつと一計し浅き方へ上陸し其地盜言察へ
謝ふ數人をも付るを見りて面八互に切合へ入切伏せ今板子を持て水中へ入り跡二人の写真のみ行へ白浪